

# 子育て・子育て支援情報 19

問合せ先 市役所こども育成グループ  
☎52-1111 (内線362)

Eメール ikusei@city.takahama.lg.jp

市役所こども育成グループから、子育て・子育て支援に関する情報を毎月1日号で、お知らせします。

## 『GOOGOはまキッズが行く』

市内の子育て支援を行なっているスタッフが集まり、月に一度、いちごプラザ、子育て支援センターや保健センターを会場に実施している『GOOGOはまキッズが行く』の様子を紹介いたします。

◆7・00月  
「水遊びとおもちゃ、いっしょ」

ペットボトルで水遊びに使えるおもちゃ作りをしました。一緒に作成している親子、お子さんがまったく興味を示さないので親が一生懸命作っている方などいましたが、完成したおもちゃを使って楽しく遊びました。

### ◆9月「お月見体験」

19組の親子が参加し、月見団子を作りました。団子の感覚を面白がる子もいれば嫌がる子もいて、大変にぎやかでした。会場にはススキなど秋の花や里芋を飾り、雰囲気のあるなかで紙芝居の読み聞かせなども行なわれ、参加者は楽しんでいました。

### ◆10月「運動会」

24組の親子が参加し、園庭で大玉ころがしやかけっこ、菓子取りゲームなど9種目を行ないました。

当日は、天気がよく参加者も思いっきり楽しんでいました。



## 今月の手づくりメニュー

保育園で子どもたちが食べている給食やおやつのでき方の一例

部を紹介いたします。ご家庭でも簡単にできます。子どもと一緒に作ってみてください。

### ◆栄養すいとん

材料(一人分) 小麦粉10g、鶏もも15g、里芋20g、蒲鉾10g、白菜30g、ほうれん草20g、人参5g、油揚げ2g、干しいたけ1g、醤油4g、

だし汁150cc、塩少々

### 作り方

- ①材料をすべて食べやすい大きさに切る。
- ②ほうれん草をゆでる。
- ③だし汁に材料を入れて煮る。
- ④小麦粉に水を加えて、耳たぶぐらいの固さになるまで練り、一口大にちぎって③に入れる。

◎調味料で味をつけ、すいとんが浮いてきたら②のほうれん草を入れる。

### 栄養士から一言 すいとんは、小麦粉で作った団子を入れた汁物です。戦時中によく食べられました。どんな具でも合いますので、冷蔵庫にある野菜で作ってみてください。

## コラム たかはま子ども市民憲章

高浜市では、平成19年秋に「地方自治と子ども施策」全国自治体シンポジウムを開催しました。このシンポジウムは、国連子どもの権利条約の実現を図ることを目的にした早稲田大学喜多明人氏をはじめとする学識経験者および行政職員を中心に、平成14年兵庫県川西市で開催され、以来、毎年開催されています。

高浜市では、平成15年11月に「たかはま子ども市民憲章」を制定し、この普及啓発を行なっています。

今回から、このシンポジウムに関係する先生たちに子ども市民憲章に関するメッセージをお願いします。

皆さんと一緒に、子どものことを考えてみませんか。

### 子どもに寄り添える いじめ相談・救済システムを創る

早稲田大学教授 喜多明人氏(NPO法人子ども

の権利条約総合研究所、子どもの権利条約ネットワーク代表) 立正大学教授を経て、現在、早稲田大学文学部教授、文学博士。1991年11月、

国連・子どもの権利条約の普及のために、学習・情報支援センター「子どもの権利条約ネットワーク」を設立、同代表。2002年4月、「子どもの権利条約総合研究所」を設立、同代表。

「いじめに負けるな」「おまえがしっかりしていればいじめなんか跳ね飛ばせる」

「ぼく、そんなに強くないよ。頑張れないよ。そんな子どもの

気持ちをわかってよ」

いじめに向き合っおとな側と子ども側には、こんなに開きがあります。そのような意識の隔たりは2002年度の168委員会子どもグループ調査ではっきり示されています。

今から10数年前に西尾市の大河内清輝君がいじめを苦にして自殺しました。

そのときは、学校や大人たちは「清輝君がそんなにつらい思いをしていたとは知らなかった」と感想を述べていました。先の調査では、「生きていることがとてもつらい」と訴えている子どもが19%(53人)もいました。

子どもの気持ちに寄り添い、共感できる子どもからの相談システム、子ども固有の救済制度を考えていきませんか。(詳しくは、高浜市「H-ROBBA子ども市民憲章」3、4ページ、2004年、参照)